

テモテ
第一
⑥

「主の前に 真実であらう」

テモテへの手紙第一 6章 信仰の戦友への奨励

アウトライン

0. イントロダクション

I. 権威と富と正しい教え 1～10節

II. 同労者テモテへの奨励 11～21節

III. まとめと適用

主の前に真実であらう



テモテへの手紙第一とは？

- 著者 …使徒パウロ。
- 宛先 …エペソ教会を指導中のテモテ
- 執筆時期・場所 …不明
聖書の文脈、意図に従うなら…
→ パウロが、エペソからギリシャへ
三度目のコリント訪問の旅の途中？
- 目的 …牧会書簡(テモテ、テトス)
牧会上の実践的な助言。励まし。



テモテとは？

- アジア州のリストラ出身。
- 父はギリシャ人。母はユダヤ人。
祖母ロイスと母ユニケより信仰を受け継ぐ。
幼い頃から聖書教育を受けた。
- 第二次伝道旅行のパウロと出会い、同行する。
- パウロの信頼厚く、残留したり、派遣されたり。
6つの手紙をパウロと共同執筆(コリントⅡ、
ピリピ、コロサイ、テサロニケⅠ・Ⅱ、ピレモン)





I. 権威と富と正しい教え テモテ第一 6章1～10節

エペソ・円形劇場

勧め 奴隷である信者 テモテ6:1

奴隷*としてくびきの下にある人はみな、自分の主人をあらゆる面で尊敬に値する人と思わなければなりません。神の御名と教えが悪く言われたいようにするためです。

*都市部の家の奴隷は、私的財産の所有や、結婚(事実婚)も可。貴族の家庭教師もいた。負債を返還した解放奴隷も多くいた。

→信者間で、奴隷と自由人の区別はなし。

■上の権威への従順は、信者の共通の原則。



勧め 信者である主人 テモテ6:2

信者である主人を持つ人は、主人が兄弟だからといって軽んじることなく、むしろ、**ますますよく仕えなさい**。その良い行いから益を受けるのは信者であり、愛されている人なので、あなたはこれらのことを教え、また勧めなさい。

■ 主イエスの愛をもって仕え合うのが信者。

主人が信者なら、なおさら愛すべき。

➔ 土台にあるのは、**信仰者の大原則**



警告 偽教師 テモテ6:3~4

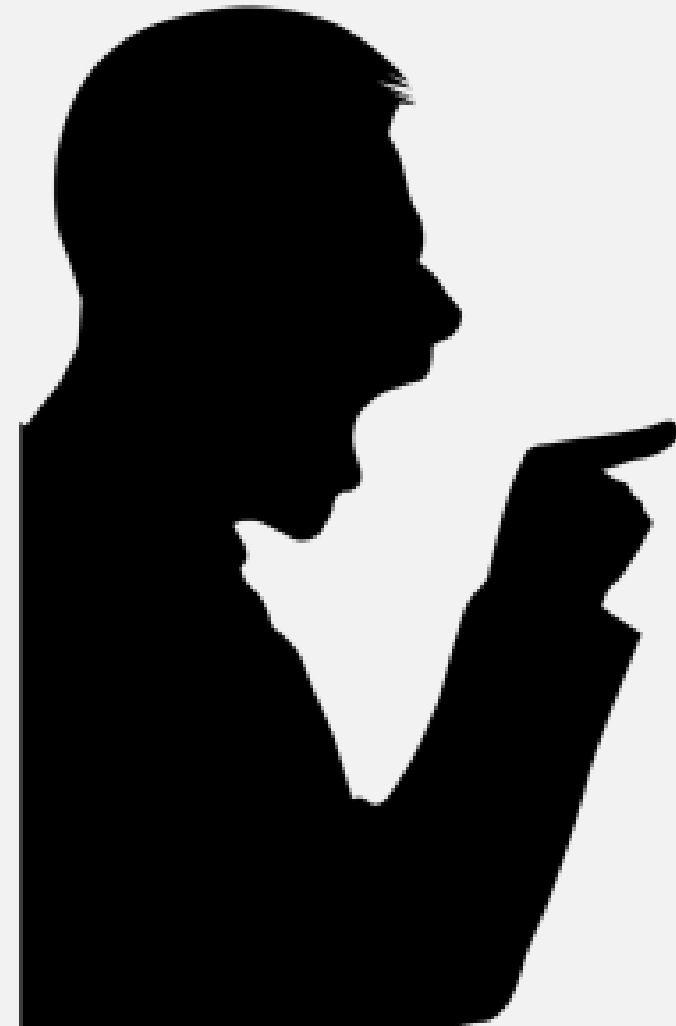
違ったことを教え、私たちの主イエス・キリストの健全なことばと、敬虔にかなう教えに同意しない者*がいるなら、

その人は高慢になっていて、何一つ理解しておらず、議論やことばの争いをする病気にかかっているのです。そこから、ねたみ、争い、ののしり、邪推、絶え間ない言い争いが生じます。

*イエスの基本的教えを歪曲する者。偽教師。

■罪の本質は、神に対する高慢*。

→極みのサタンは、“告発者、誹謗する者”



勧め 足るを知る敬虔 テモテ6:5～6

これらは、知性が腐って真理を失い、敬虔を利得の手段と考える者たち*の間に生じるのです。

しかし、満ち足りる心を伴う敬虔*こそが、大きな利益を得る道です。

*偽善者や偽教師が求めるのは己の利益。

→人からの称賛、支配、金銭や富

*「思い煩うな」と主イエスは言われた。

主を第一とすれば、必要は加えて与えられる。



野の花・アネモネ

勧め すべては主のもの テモテ6:7~8

私たちは、何もこの世に持って来なかったし、
また、何かを持って出ることもできません。

衣食があれば、それで満足すべきです。

「何を食べようか何を飲もうかと、自分のいのちのことで心配したり、何を着ようかと、自分のからだのことで心配したりするのはやめなさい。マタイ6:25」

- 主に仕える者の必要は、主が満たされる。
求められるのは、いのちの主への信頼のみ。



イスラエルの雀

警告 金銭欲という悪の根 テモテ6:9~10

金持ちになりたがる人たち*は、誘惑と罠と、また人を滅びと破滅に沈める、愚かで有害な多くの欲望に陥ります。

金銭を愛することが、あらゆる悪の根*だからです。ある人たちは金銭を追い求めたために、信仰から迷い出て、多くの苦痛で自分を刺し貫きました。

*問題は、金持ちになることが目的の人。

→主への従順の結果の経済的祝福とは別

*裏切り者ユダは、会計をごまかしていた。



守銭奴は、世の
君サタンの奴隷



Ⅱ. 同労者テモテへの奨励

I テモテ6章11～21節

勧め 神の人 テモテ6:11~12

しかし、神の人*よ。あなたはこれらのことを避け、義と敬虔と信仰、愛と忍耐と柔和*を追い求めなさい。

*旧約的表現。神に特別な使命を与えられた者。

*傲慢とは対極。主への謙遜から生まれる態度

■長老、御言葉の教師であり、信頼する同労者
テモテに向けられた奨励。



勧め 信仰の戦い テモテ6:12

信仰の戦いを立派に戦い、永遠のいのちを獲得しなさい。あなたはこのために召され、多くの証人たちの前ですばらしい告白*をしました。

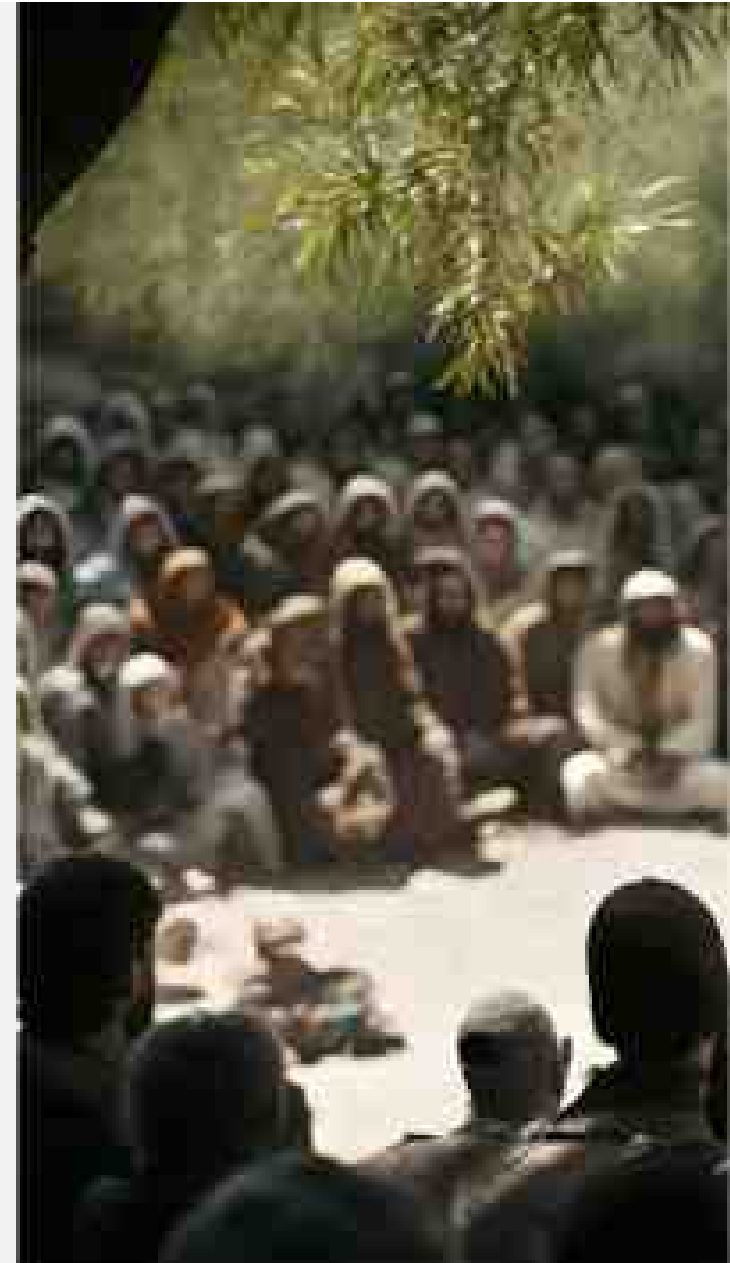
*12節は、洗礼、按手で唱えられた告白?!

■信仰の二つの側面

① 神の視点 …信じた瞬間、永遠の命を。

② 人の視点 …信者には本物と偽物が混在。

■救いの確信は、成長し続けている限りでしか得られないし、強められてもいかない。



命令 主イエスの命令 テモテ6:13~14

私は、すべてのものにいのちを与えてくださる神の御前で、また、ポンティオ・ピラトに対してすばらしい告白*をもって証しをされたキリスト・イエスの御前で、あなたに命じます。

私たちの主イエス・キリストの現れの時まで、あなたは汚れなく、非難されるところなく、命令を守りなさい。

*ローマ総督の前で、公になされた告白の事実

■ 成就した預言が、再臨の確信。命令の根拠。

➔ 携拳の瞬間まで、教会の使命は続く





頌栄 王の王 主の主 テモテ6:15

キリストの現れを、定められた時にもたらしてくださる、祝福に満ちた唯一の主権者、王の王、主の主、死ぬことがない唯一の方、近づくこともできない光の中に住まわれ、人間がだれ一人見たことがなく、見ることもできない方。この方に誉れと永遠の支配がありますように。アーメン。

勧め 来たるべき世の土台 テモテ6:17~19

今の世で富んでいる人たちに命じなさい。高慢にならず、頼りにならない富にではなく、むしろ、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置き、善を行い、立派な行いに富み、惜しみなく施し、喜んで分け与え、来たるべき世において立派な土台となるものを自分自身のために蓄え、まことのいのちを得るように命じなさい。

■ 奴隷への勧めと対照。富んだ信者の責務。

→「天に宝を蓄えなさい(マタイ6:20)」



勧め 委ねられたもの テモテ6:20~21

テモテよ、委ねられたもの*を守りなさい。
そして、俗悪な無駄話や、間違っって「知識*」
と呼ばれている反対論を避けなさい。

ある者たちはこの「知識」を持っていると主張して、
信仰から外れてしまっています。恵みがあなたがたとともにありますように。

*主イエスの言葉。使徒たちの教え。

*“グノーシス” …肉体を軽視、受肉を否定。

■主の命令は明確。➡従うか否か。

偽りの教えとの戦いが、信仰者の主戦場





IV. まとめと適用 主の前に真実であろう

最後まで実践的なテモテへの手紙

■警告されている人々

①主人に反抗的な奴隷

…権威への反抗は、不信仰につながる。

権威者と見ると反抗する者 → 自分の暴力性には無頓着。

②偽教師

…最も警戒すべき者。自分の利得のために神をも利用。

③守銭奴・金の亡者

…金が神。欲望の奴隷。

偽教師 最も警戒すべき者

- 偽教師の目的は、自分の利得。偽善者も同様。
…評価、注目、支配、金銭、富
- 根には、高慢がある。主の教えを歪め、自分自身を神の上に!!
結果…ねたみ、争い、ののしり、邪推、絶え間ない言い争い
- “グノーシス(知識)派” → 肉体を軽視、メシアの受肉の否定に!!
→ 誇っていたのは、自らの知識

偽りの教え、逸脱した教理に、決して妥協してはならない!!

金銭を愛する者の末路

- 主への従順の結果としての富は、神の祝福 …アブラハムや善王
問題は、「金持ちになりたがる人たち」 → 動機も目的も、金
- 「金銭を愛することが、あらゆる悪の根」 → あらゆる欲望と墮落
「ある人たちは金銭を追い求めたために、信仰から迷い出て、
多くの苦痛で自分を刺し貫きました。」
偽教師と金の亡者 → 最強(狂)タッグ。滅びに一直線!!

富も金も、主に遣え、仕えるためにあると覚えよう!!

アナニヤとサツピラの末路から考える 使徒5章

- 初期のエルサレム教会で、持ち物を分かち合っていた信者たち。
→ 背景には、ユダヤ共同体からの排斥の現実も。
- 土地売却の一部を、全額だと偽って献金した、アナニヤとサツピラ。
→ 次々に、主に打たれて死んだ。
- 彼らの嘘の深刻さ → 全く不要な行為の根は、神への偽り。
動機は利得。本質は金の亡者
神への不真実は、不信仰の表れ。

主を信頼する者は、主の前に真実でいなければならない!!

★ 偽善を脱ぎ捨て、主の前に真実の私でいよう ★

- 主が求めておられるのは、自発的な真実の愛の応答。
私のすべてをご存じの神は、真実の信頼を求めておられる。
- ただ、福音を信じて救われ、永遠に神の所有とされたのなら、
神に対し、自分を取り繕う必要などない。
偽善と信仰は、決して相容れないものだと思えよう。
- 欠けだらけの身を、主に委ねて、示されたことを実行しよう。
主に信頼し続けるなら、失敗をも含めて主が用いてくださる。

「^{てん}天の^{とう}お父さま。わたしは、あなたに^{そむ}背き、^{つみ}罪を^{かさ}重ねてきました。
^{ひび}日々^{おか}犯してしま^{つみ}う罪をも^{こくはく}告白します。この^{つみ}罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ}神の^こみ子イエス・キリストが、
^{つみ}あがな^{じゅうじか}し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

^{はか}ほうむ

②墓に葬られ、

^{みつかめ}ふっかつ

③三日目に復活したこと、を信じます。

^{しゅ}主よ。わたしは、あなたの^{まえ}前に、^{しんじつ}真実でありたいと^{ねが}願います。

^か欠けだらけのわたしを、あなたは、きよいものとしてくださっています。

^{じぶん}自分を^{いつわ}偽ることなく、^{けんそん}謙遜に、^{しゅ}主に^き聴き^{したが}従う^{もの}者としてください。

^{めぐ}恵みを^{ぞんぶん}存分に^{あじ}味わいつつ、この^{すく}救いの^{あか}証し人として^{びと}遣わしてください。

^{しゅ}主イエス・キリストのみ名によって^な祈ります。 ^{いの}アーメン」